

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2023年 6月23日

栃木県知事
福田 富一 様

提出者

住 所 栃木県大田原市実取770番地

氏 名 株式会社栃木ニコン

代表取締役兼社長執行役員 津田 剛志

電話番号 0287-28-1111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社栃木ニコン
事業場の所在地	栃木県大田原市実取770番地
計画期間	2023年4月1日～2024年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	光学機械用レンズ・プリズム製造業 [2753]
② 事業の規模	製造品出荷額 376億円/年
③ 従業員数	1,544人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1のとおり

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
別紙2のとおり			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	排出量	別紙3のとおり t	t
	(これまでに実施した取組)		
別紙4のとおり			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	排出量	別紙3のとおり t	t
	(今後実施する予定の取組)		
別紙4のとおり			
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙4のとおり		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙4のとおり		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別紙3のとおり t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙4のとおり		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別紙3のとおり t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙4のとおり		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	別紙3のとおり t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	別紙3のとおり t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙4のとおり		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	別紙3のとおり t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	別紙3のとおり t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙4のとおり		

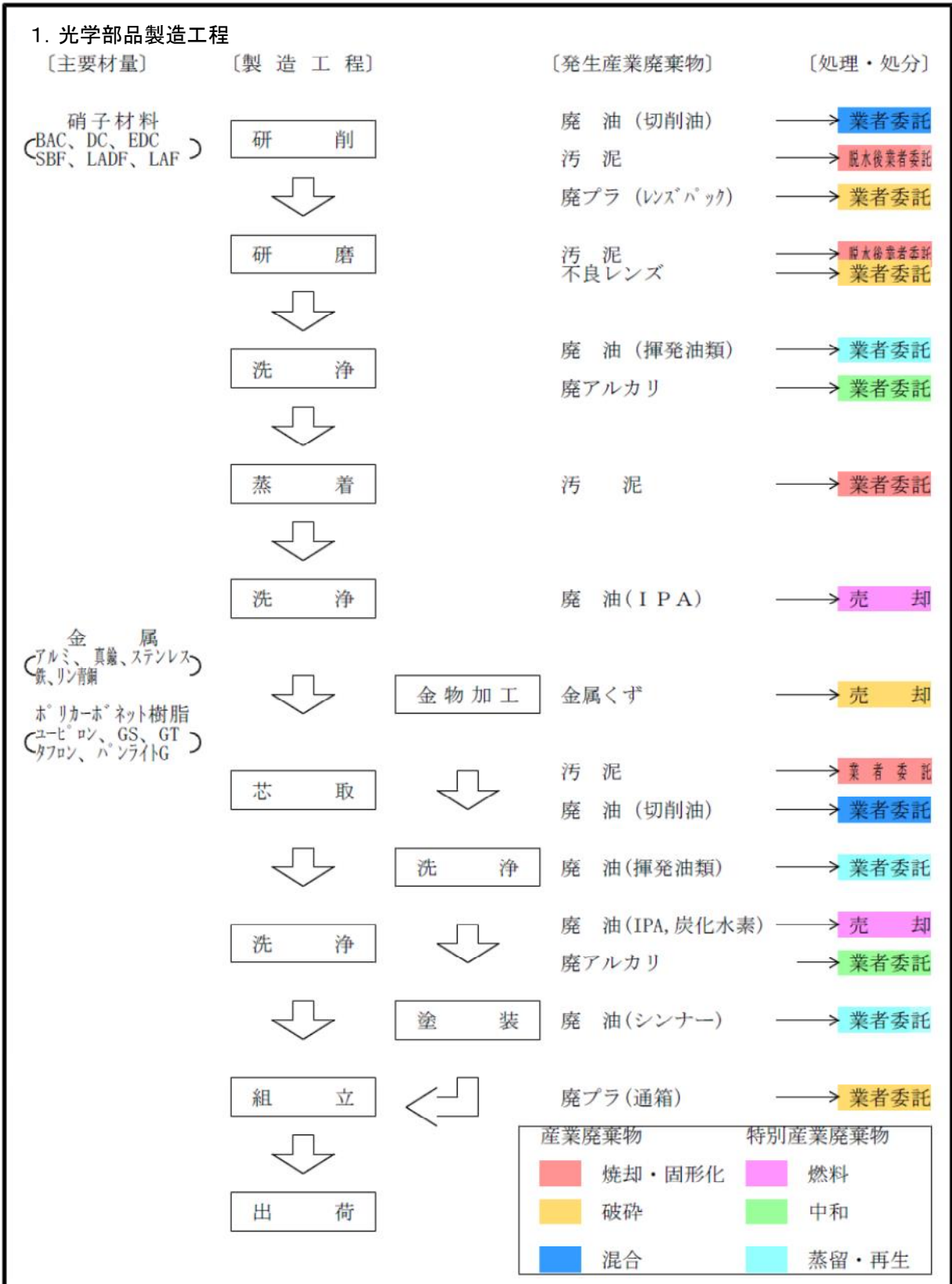
(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	別紙3のとおり t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙4のとおり		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	別紙3のとおり t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙4のとおり		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	全処理委託量	別紙3のとおり t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙3のとおり t	t
	再生利用業者への処理委託量	別紙3のとおり t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙3のとおり t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙3のとおり t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙4のとおり		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	全処理委託量	別紙3のとおり t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙3のとおり t	t
	再生利用業者への 処理委託量	別紙3のとおり t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙3のとおり t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別紙3のとおり t	t
	(今後実施する予定の取組)		
別紙4のとおり			
※事務処理欄			

備考

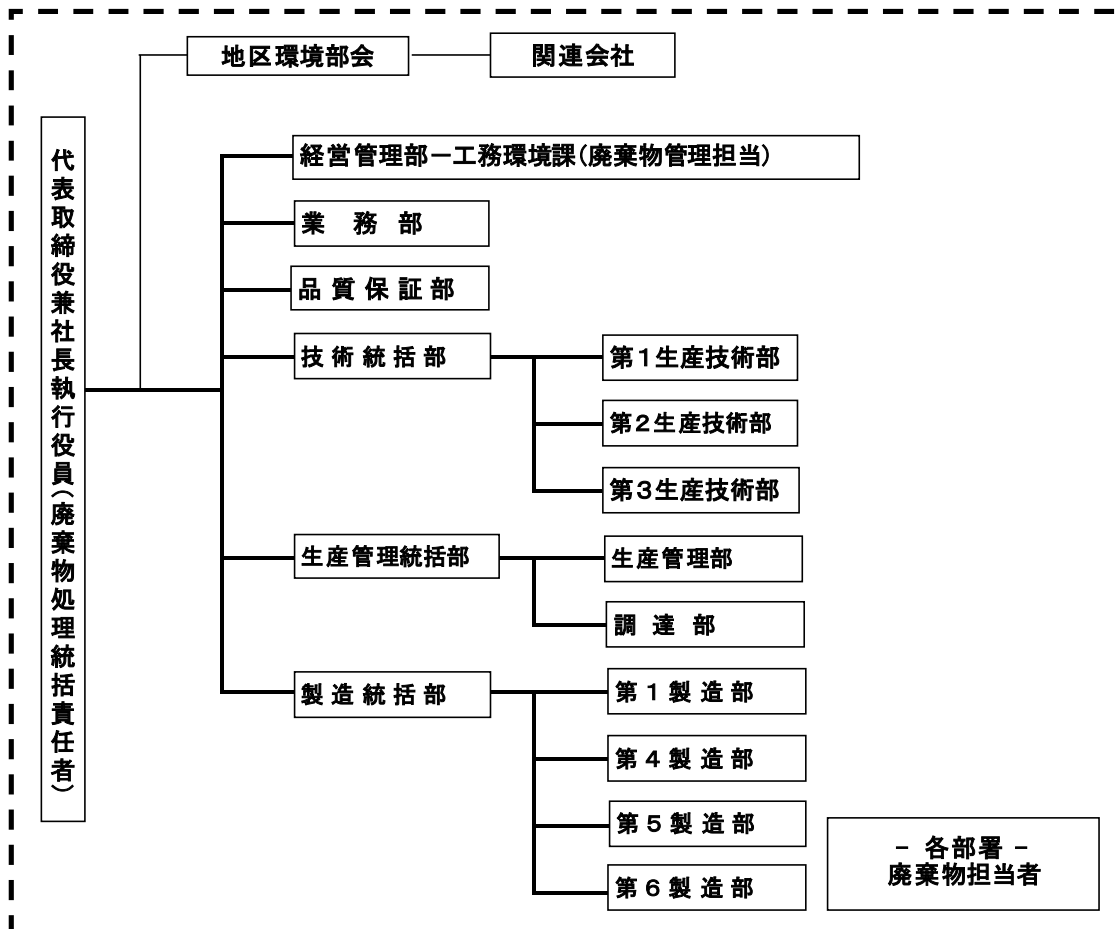
- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。



＜産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項＞

統括責任者	職名：取締役社長
廃棄物担当	組織名：工務環境課環境管理係 組織人数：3名 職名：係長
役割	地区環境部会 ○ 廃棄物処理に関する検討 ○ 廃棄物の発生抑制、再生利用、中間処理、適正処理の推進、計画的な廃棄物の管理を行う上で必要な事項を検討する
	廃棄物処理統括責任者 ○ 廃棄物処理方針の策定 ○ 社内廃棄物管理規定の策定・改廃 ○ 廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認
	廃棄物管理部署責任者 ○ 産業廃棄物処理計画の作成 ○ 廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ○ 処理施設の運転・維持管理状況の把握 ○ 処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理 ○ 委託契約の締結 ○ 産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物管理票の交付・管理 ○ 監督官庁への各種報告 ○ 従業員等、関連会社への教育・啓発 ○ その他関係する事項

廃棄物管理組織



2022年度実績値及び2023年度目標値

廃棄物の種類及び 実績、目標の別 排出・処理 の区分	汚泥		廃油		廃酸	
	実績[t] (2022年度)	目標[t] (2023年度)	実績[t] (2022年度)	目標[t] (2023年度)	実績[t] (2022年度)	目標[t] (2023年度)
排出量	1,432	1,470	80	80	8	9
自己再生利用量	0	0	0	0	0	0
自己熱回収量	0	0	0	0	0	0
自己中間処理減量化量	946	960	0	0	0	0
自己埋立処分又は海洋 投入処分量	0	0	0	0	0	0
全処理委託量	353	365	80	80	8	9
優良認定処理業者へ の処理委託量	353	365	80	80	8	9
再生利用業者への処 理委託量	314	320	80	80	8	9
認定熱回収業者への 処理委託量	39	45	0	0	0	0
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	0	0	0	0	0	0

廃棄物の種類及び 実績、目標の別 排出・処理 の区分	廃アルカリ		廃プラスチック類		木くず	
	実績[t] (2022年度)	目標[t] (2023年度)	実績[t] (2022年度)	目標[t] (2023年度)	実績[t] (2022年度)	目標[t] (2023年度)
排出量	0.0	0	64	75	16	15
自己再生利用量	0	0	0	0	0	0
自己熱回収量	0	0	0	0	0	0
自己中間処理減量化量	0	0	0	0	0	0
自己埋立処分又は海洋 投入処分量	0	0	0	0	0	0
全処理委託量	0.0	0.4	64	75	16	15
優良認定処理業者へ の処理委託量	0.0	0.4	64	75	16	15
再生利用業者への処 理委託量	0.0	0.4	64	75	16	15
認定熱回収業者への 処理委託量	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	0	0	0	0	0	0

2022年度実績値及び2023年度目標値

廃棄物の種類及び 実績、目標の別 排出・処理 の区分	ガラスくず及び陶磁器くず		金属くず			
	実績[t] (2022年度)	目標[t] (2023年度)	実績[t] (2022年度)	目標[t] (2023年度)	実績[t] (2022年度)	目標[t] (2023年度)
排出量	19	18	5	4.8		
自己再生利用量	0	0	0	0		
自己熱回収量	0	0	0	0		
自己中間処理減量化量	0	0	0	0		
自己埋立処分又は海洋 投入処分量	0	0	0	0		
全処理委託量	19	18	5	4.8		
優良認定処理業者へ の処理委託量	19	18	5	4.8		
再生利用業者への処 理委託量	19	18	5	4.8		
認定熱回収業者への 処理委託量	0	0	0	0		
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	0	0	0	0		

廃棄物の種類及び 実績、目標の別 排出・処理 の区分						
	実績[t] (2022年度)	目標[t] (2023年度)	実績[t] (2022年度)	目標[t] (2023年度)	実績[t] (2022年度)	目標[t] (2023年度)
排出量						
自己再生利用量						
自己熱回収量						
自己中間処理減量化量						
自己埋立処分又は海洋 投入処分量						
全処理委託量						
優良認定処理業者へ の処理委託量						
再生利用業者への処 理委託量						
認定熱回収業者への 処理委託量						
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量						

別紙4

<産業廃棄物の排出の抑制に関する事項>

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
汚泥	設備の更新	研磨剤使用量最小化の検討
廃油	液更新の延長検討	左記継続
廃酸	不良率の削減	左記継続
廃アルカリ	不良率の削減	左記継続
廃プラ類	有価化の検討、プラスチック部品の不良率の削減	左記継続
木くず	パレット再利用の推進	左記継続
ガラスくず	不良率の削減	左記継続

<産業廃棄物の分別に関する事項>

	分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組	今後実施する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組
汚泥	工程毎に発生した、研磨汚泥、芯取汚泥、脱水汚泥等をそれぞれ種類毎に別容器に保管	—
廃油	水溶性廃油、非水溶性廃油をそれぞれ別容器に保管	—
廃酸	種類毎にそれぞれ別容器に保管	—
廃アルカリ	種類毎にそれぞれ別容器に保管	—
廃プラ類	廃プラ単体、金属付着品等種類毎にそれぞれ別容器に保管	—
木くず	—	—
ガラスくず	ガラスのみ、金属等付着物等種類毎にそれぞれ別容器に保管	—

<自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項>

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
汚泥	—	研磨剤再生利用の検討
廃油	—	—
廃酸	—	—
廃アルカリ	—	—
廃プラ類	—	—
木くず	—	—
ガラスくず	—	—

<自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項>

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
汚泥	脱水機の更新	排水処理場より発生する汚泥を継続して脱水処理する
廃油	—	—
廃酸	—	—
廃アルカリ	—	—
廃プラ類	—	—
木くず	—	—
ガラスくず	—	—

<自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項>

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
汚泥	—	—
廃油	—	—
廃酸	—	—
廃アルカリ	—	—
廃プラ類	—	—
木くず	—	—
ガラスくず	—	—

<産業廃棄物の処理の委託に関する事項>

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
汚泥	—	—
廃油	—	—
廃酸	—	—
廃アルカリ	—	—
廃プラ類	—	—
木くず	—	—
ガラスくず	—	—